

新潟市會津八一記念館指定管理者 平成21年度事業計画書

1, 事業の実施に関する業務

年間事業計画 (詳細は別紙)

(1) 展覧会事業

①特別展

「會津八一と越の学び舎～新潟大学創立60周年記念～」(仮称)

平成21年9月19日(土)～11月29日(日)

②企画展

- ・「街の中の會津八一～第2弾～」平成21年4月3日(金)～6月28日(日)
- ・「没後10年濱谷浩會津八一博士を写す」平成21年7月3日(金)～9月13日(日)
- ・「新収蔵品展」平成21年12月18日(金)～3月22日(月祝)

(2) イベント事業(書籍, 常設展, 特別展PR)

①「會津八一の歌を映す」第3回秋草道人賞写真コンテスト

書籍「會津八一 悠久の50首」より選別した7首の歌を題材とした写真を広く全国に向け公募する。授賞式も行う。

②第2回會津八一賞学術懸賞論文

「現代に生きる書とは」をテーマとした論文の全国公募し、授賞式は写真コンテストと同時に行う。

③常設展関連講演会 平成21年5月1日 (講師 轡田隆史氏)

④八一祭記念講演会 平成21年8月1日 (講師 小川光三氏)

⑤特別展関連講演会 平成21年10月4日 (講師 植村鞆音氏)

⑥ 同 平成21年11月 (講師 神林恒道館長)

(3) 書籍, ビデオ, DVDを持参した学校・公民館への出前授業

4月に會津八一の作品を所蔵しているところ、あるいは団体鑑賞でよく記念館を利用している学校や公民館を中心に案内を送り、依頼のあるところから実施する。

(4) 関連博物館との連帯強化

八一にゆかりが深く、同市内にある施設同士ということで北方文化博物館(新潟市)との連携強化はかる。

(5) その他事業

八一祭, 学習講座, 鑑定会など

2, 施設の運営に関する業務

(1) 平成21年度目標値

観覧者数 7,900人

観覧料収入 3,000,000円

(2) 人材の育成

→休館期間を利用して、学芸員の研修への派遣を予定。

(3) ホームページの活用

20年度リニューアルしたホームページにより、展示やイベントについて、ビジュアルな画面で、随時速やかに情報発信していく。

(4) 収蔵品の整理と危機管理

- ・ボランティアによる書簡約6000通の解読と整理の継続
- ・デジタル化した作品の画像データを次にデータベース化へ準備をする。

(5) サポート体制の強化

→サポーター候補の企業、団体との関係強化をし、体制の構築を目指す。

3, その他

(1) 自己評価

→入館者アンケートを実施して、外部の意見を取り入れながら、職員間でも目標を設定し、達成の進行状況を話し合い、自己評価を行う。

4, 収支予算書 (別紙参照)

平成21年度事業計画

【概要】

本年、新潟市は「大観光交流年」として、大河ドラマ「天地人」の放送、水と土の芸術祭、新潟国体など、全国から注目される催しを企画している。これにともない、当記念館の平成21年度展覧会事業は、會津八一の故郷・新潟をテーマに企画する。地元をはじめ、県外客に八一を通じて新潟の魅力を発信できる活動を実施していきたい。

特別展では新潟大学創立60周年にちなみ、會津八一と新潟大学をテーマに企画。旧制高校、医科大学卒業生や教授陣たちとの交流から生まれた書画作品、業績、新潟大学所蔵の美術品を展示。また新潟大学に対する期待を込めた八一の教育観についても紹介する。企画展では、晩年の八一肖像写真を数多く撮影し、また雪国越後の民俗を写した写真家・濱谷浩との交流、また、新潟市近郊の公共施設や寺社、旅館に所蔵している八一作品を中心に街に溶け込む八一の書を紹介。収蔵品展では毎年市民から寄贈、寄託を受けた作品を中心に、第3回写真コンテスト入賞入選作品も併せて展示をする。

その他の事業では、第2回會津八一賞懸賞学術論文、前年度に引き続き、第3回「八一の歌を映す」写真コンテスト、館長講座を実施。また昨年から取り組み始めた小・中・高等学校及び公民館の出前講座なども含めた普及活動の継続に力を尽くしたい。

【事業計画の内容】

(ア) 展覧会事業(特別展 4,900 千円 企画展 1,272 千円 開館日数275日)

分類	展覧会名 (仮称)	会期	内容
1	企画展 街の中の會津八一 ～第2弾～	4月3日(金) ～ 6月28日(日) 75日間	新潟市近郊の小・中・高校、図書館などの公共施設、寺社、旅館が所蔵する八一の墨蹟を展示。その他に、新潟を詠った歌書、新潟の風景を賞した書簡も陳列。戦後、郷里の新潟を文化的に向上させようと努めた八一の姿を紹介。 〔予備展示室〕 八一の散歩道コースの紹介
2	企画展 没後10年 濱谷浩 會津八一博士を写す	7月3日(金) ～ 9月13日(日) 63日間	日本の風土や人々の撮影、「マグナム・フォトス」の参加で海外でも著名な写真家・濱谷浩(1915～99)。代表作『雪国』の撮影や高田に疎開したことで新潟に縁が深い。 濱谷の没後10年を記念して、撮影した會津八一の肖像写真を中心に、関連作品資料を展示。 〔予備展示室〕 濱谷浩と會津八一の交流
3	特別展 會津八一と越の学び舎 ～新潟大学創立60周年記念～	9月19日(土) ～ 11月29日(日) 64日間	新潟大学創立運動に執筆した八一の随筆原稿「総合大学を迎えて」をはじめ、大学へ贈った八一書「浩然」、「北冥有魚」などを展示。また八一と交流のあった新大教職員や卒業生が所蔵する八一の書、書簡、研究著書、原稿類、大学所蔵の中原悌二郎彫「若きカフカス人」などを陳列。加えて、新潟大学に期待を込めた八一の教育観も紹介する。 〔予備展示室〕 新潟大学の歴史をパネル紹介
4	収蔵品展 新収蔵品展	12月18日(金) ～ 3月22日(月祝) 73日間	2007～9年まで新たに寄贈、寄託された會津八一の墨蹟作品や書簡、資料並びに記念館所蔵の名品を展示。 併せて第3回秋艸道人賞「會津八一の歌を映す」写真コンテスト入賞入選作品を展示。 〔予備展示室〕 第2回写真コンテスト入賞作品と會津八一案内

展示替え、研修のための 休館日	6/29～7/2	4日間
	9/14～9/18	5日間
	11/30～12/17	18日間

作品解説会	常設展・企画展	期間中	月2回（第2、4日曜日）	午前11時
	特別展	期間中	毎週土曜、日曜日	午前11時

【イベント】

月	イベント名	内容
4月 又は 5月	○ 企画展 文芸講演会	講師：轡田隆史氏（ジャーナリスト）
8月	○ 八一祭（8月1日）	講師：小川光三氏（写真家、飛鳥園社長）
10月	○ 特別展記念講演会 ①	講師：植村鞆音氏（直木三十五の甥）
11月	○ 特別展記念講演会 ② ○ 第3回写真コンテスト締切 ○ 第3回写真コンテスト審査・発表	講師：神林恒道館長 11月13日（金） 11月下旬
12月	○ 第2回学術懸賞論文締切 ○ 第3回写真コンテスト入賞入選作品展	12月3日（水） 12月18日（金）
平成22年 1月	○ 第2回学術懸賞論文審査・発表 ○ 懸賞学術論文、写真コンテスト授賞式	1月中旬 1月下旬

（イ）「會津八一の歌を映す」第3回秋艸道人賞写真コンテスト（2400千円）

- ① 公募ポスターと応募用紙の制作と発送（平成21年4月中）
- ② 審査・結果発表（平成21年11月下旬）

（ウ）「第2回會津八一賞懸賞学術論文」（1350千円）

- ① 応募用紙の制作と発送（平成20年発送済）
- ② 審査・結果発表（平成22年1月上旬）

（イ、ウの授賞式）

平成22年1月下旬 予定

（エ）その他のイベント（300千円）

八一祭講演会 ※交渉予定

講師：小川光三氏（写真家・飛鳥園社長）

演題：「會津八一と写真」（仮題）

日時：平成21年8月1日（土）午後

会場：未定

定員：未定

文芸講演会1 講師：轡田隆史氏（ジャーナリスト、元朝日新聞論説委員）

演題：「會津八一の学規と現代の世相について」（仮題）

日時：平成21年4、5月中

会場：未定

特別展記念講演会① 植村鞆音氏

演題:未定

日時:平成 21年10月

会場:未定

特別展記念講演会② 神林 恒道館長

演題:「山下清と新潟」(仮題)

日時:平成 21年11月

会場:未定

英文パンフレット制作(外国人向け)

「會津八一の美学」(神林館長)

「會津八一の奈良歌について」(マイケル・マルラ UCLA教授)

「會津八一の書」(萱のり子 大阪教育大学教授)

「會津八一の生涯について」

(オ)学習講座 (会費で充当)

①館長連続講座 (8回)

仮題:「西洋美術 印象派」(5月~8月) 「美人画の系譜」(9月~12月)

各月1回 午後6時30分~8時

会場:クロスパルにいがた(予定)

定員:150名

② 會津八一の歌を読む会

講師:若月忠信氏(敬和学園大学教授)

日時:毎月第1土曜日 午後1時30分~3時

会場:砂丘館

③ 會津八一の散歩道 ~「健康と教養」欲張りウォーク~

春~秋の間 都合の良い時期に実施

④ 新講座

講師:野中浩俊氏(新潟大学名誉教授)

日時:未定

会場:未定

(カ)鑑定会 (250千円) 春秋2回を予定

春の部

日時:平成21年4月または5月 午後1時~3時

会場:會津八一記念館

(キ)旅行企画 (参加者負担)

會津八一の足跡を訪ねる旅を計画

○「會津八一と高野山」の旅4日間 (新潟日報旅行社)

4月16日(木)~19日(日)

(ク)アウトリーチ活動

- ・4月に會津八一の作品を所蔵しているところ、あるいは団体鑑賞でよく記念館を利用している学校や公民館を中心に案内を送り、依頼のあるところから実施